

BPT(バイオマスプロジェクトチーム)だより No.56

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kankyou-kendo/kankyou/junkan/blomass/index.html>

平成22年11月2日

バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

1. 研究機関との連携

- 地域LCA(千葉県)協議委員会

10月20日に(独)産業技術総合研究所の社会とLCA研究グループとの同委員会が開催されました。同研究所より「食品残さの飼料化およびその利用システムの評価」の研究等について、進捗状況が示され、意見交換を行いました。

2. 国との連携

- 関東バイオマス資源活用促進協議会

8月6日(金)、埼玉県上尾市において、関東農政局管内10都県のバイオマス担当者及び関係者が集まり、関東バイオマス資源活用促進協議会が開催されました。本協議会では、本年度、バイオマスの可能性についての検討が行われています。上尾市内において、バイオマスタウンアドバイザーを核とした有志が、休耕地などで省力的に栽培することができ、燃料として利用可能な作物としてヤナギに注目し、栽培実証試験を行っています。このほ場を視察した後、本年度実施する調査計画に関する協議を行いました。今後、関東地域において事業化の意欲が高い7地域程度を選定して、課題の整理、成立要件の検討等に関する調査を実施する予定です。



ヤナギの試験ほ場

3. 市町村等との連携

- 南房総市域木質バイオマス利活用促進事業第1回検討委員会

千葉県森林組合安房支所が林野庁公募事業(木質ペレット等地域流通整備事業)により実施する、事業検討委員会に出席しました。今後、出光興産(株)千葉製油所と協力して木質チップの石炭ボイラー混焼利用を検討が行われます。

- ゆめ半島千葉国体でバイオマス取組み紹介の情報発信

ゆめ半島千葉国体をバイオマス利活用の取組みについて県内外に情報発信する機会と捉え、9月25日(土)国体総合開会式において、香取市、山武市、南房総市、大多喜町と共同でブース出展を行いました。



サンプル等の展示状況

○ 南房総市地産地消推進協議会 (10月5日)

同協議会では、地産地消、資源循環として、堆肥流通等に取り組んでおり、当課も委員として参画しています。また、新たに市内の木質バイオマスをチップ化して、臨海工業地域の企業が燃料として利用する事業も開始され、様々な取り組みが行われています。

○ 市町村との意見交換会 (10月15日、29日)

各市町村環境部局、一部事務組合の担当者等で組織される千葉県環境衛生促進協議会各支部で、当課各室担当者と一緒に情報交換を行いました。当チームからは、バイオマスに関する情報提供を行いました。今後、他地区でも予定されており、同様な情報交換に努めていきたいと思えます。

4. 普及啓発活動

○ 木質プラスチック普及活動の実施

下記イベントにおいて千葉県産木質プラスチック製品の普及啓発活動を行いました。特にゆめ半島千葉国体総合開会式のおもてなしゾーンでは、(社)ちばデザインネットワークや房総里山資源活用研究会と連携し、千葉ものづくり認定製品「レンブロック」による展示を行いました。



レンブロックの展示

また、千葉県文書館では平成22年9月1日(水)～平成23年2月26日(土)の会期で企画展「江戸のエコ“もったいねえ”があたりまえ」が行われており、木質プラスチック製品も展示されています。



文書館企画展での展示

- ・ 8月 5日(木) 緑の教室：(社)千葉県緑化推進委員会
- ・ 9月 1日(水)～2月26日(土)：文書館企画展
- ・ 9月 5日(日) エコメッセ2010inちば：幕張メッセ
- ・ 9月 5日(日) 秋の観光キャンペーン街頭PR：(関内・大宮)
- ・ 9月25日(土) ゆめ半島ちば国体総合開会式：千葉マリスタジアム
- ・ 9月29日(水)～10月1日(金) バイオジャパン：パシフィコ横浜
- ・ 10月31日(日) 手賀沼エコマラソン：柏ふるさと公園

○ バイオマスの普及啓発に係る研修会

7月27日(火)から29日(木)の3日間、法政大学文学部地理学科の学生を対象とした研修会を開催しました。

参加者は、BDFを活用して運行しているいすみ鉄道を利用して大多喜町に集合しました。初日は大多喜町においてバイオマスに関する概論から導入し、町のバイオマスに関する取組を学びました。その後、BDF製造施設を見学し、更に直売施設「たけゆらの里おおたき」で地域振興の取組について学びました。



現地視察の様子

二日目は、大多喜町でリサイクルループを実践している岩瀬園芸を視察した後、睦沢町のバイオマスに関する取組やこの取組を理解する上で欠かせない水稻の生産調

整の仕組み等などを学びました。その後、睦沢町が運営しているかずさ有機センターを訪れ耕畜連携の優良事例を学び、睦沢町の地域振興に大きな役割を果たしている直売施設「つどいの郷むつざわ」を訪問しました。

猛暑の中、ハードスケジュールでしたが、参加者の皆さんはたいへん熱心で、活発な質疑応答がありました。各関係者皆様のご尽力により、バイオマスに関する取組の表面だけではなく、取組の成立に必要な経済的な課題を含めた深い部分についても触れることができた有意義な研修となりました。

○ バイオマスシンポジウム

8月23日（月）、ホテルグリーンタワー幕張にてシンポジウムを開催しました。今年度は、三菱総合研究所の井上氏より「わが国におけるバイオ燃料持続可能性基準に係る動向」また、日本大学理工学部の平野教授からは「木質バイオマスの直接液化反応による液体燃料の製造」について、山武市・香取市からは各市の取組みや策定したバイオマスタウン構想について事例発表がありました。多くの参加者を迎え、盛況となりました。



講演の様子

○ bayfm に出演

bayfm の朝番組「NEXT STEP」（8月23日～27日）で、バイオマスや木質プラスチックについて説明しました。番組DJのKOUSAKU氏が“まるごみ10”などの環境活動に取組まれ、当課他室も同番組に出演させてもらっていることなどの縁で実現しました。



bayfm でKOUSAKU氏と
(bayfm ホームページより引用)

○ 「エコメッセ2010 in ちば」に出展

9月5日（日）、幕張メッセ国際会議場にてエコメッセが開催されました。当チームもブースに出展し、千葉ものづくり認定製品「レンブロック」の積木体験、木質プラスチック製品の展示や各種パンフレットの配布を行い、多くの来場者にバイオマスを紹介しました。



BPT ブースの様子

○ 中学校技術研究授業でゲスト講義

9月29日（水）、30日（木）千葉市立白井中学校の2年生2クラスの技術科研究授業で千葉県内のバイオマス取組み状況を説明しました。



研究授業の様子

5. その他

○ 米国ウィスコンシン州友好使節団派遣

千葉県は、平成2年に米国ウィスコンシン州と姉妹提携しました。それ以降各分野で友好使節団の相互派遣を行っており、バイオマス分野においても平成15年度より実施されています。

今年度は9月17日～25日に実施され、県内自治体・企業のバイオマス関係者と一緒に当チームから1名参加しました。

同州内のバイオマス利活用施設の見学のほか、ウィスコンシン州政府エネルギー自立省及び、セルロース系原料からバイオエタノールを製造することについての試験研究を行う Great Lake Bioenergy Research Center (GLBRC ウィスコンシン州立大学マディソン校を中心に運営) 等で関係者と意見交換を行いました。

今回の訪問を、本県のバイオマス利活用の推進につなげていけるよう、努めていきます。



州政府での情報交換



大規模牧場の見学
(家畜排せつ物からの
ガス回収)

～さんぶの森交流センターあららぎ館のオープン～

山武市で「誰もがしあわせを実感できる独立都市さんむ」の実現を目指す基幹施設として整備を進めていた「さんぶの森交流センターあららぎ館」が10月12日(火)にオープンしました。この施設は、市民活動の拠点として、多くの人々が集い、交流することで地域のにぎわいを作り出すことを目的とした施設です。

この施設内にバイオマス体験棟が整備されました。

バイオマス体験棟は、旧山武町時代のバイオマスタウン構想の流れを受け継ぎ、サンプスギに代表される森林資源の有効活用を図るため、大学・企業・行政が協働して取り組む事業の展示や体験ができる木質バイオマス資源利活用推進の拠点機能を持つ施設です。(木造平屋建て、100.30㎡)

内部は、サンプスギ木工品からバイオマス製品まで展示し、バイオマスプラスチックを利用した製品に触れる事ができます。開館は、9:00から17:30まで(月曜日、年末年始休館)です。



バイオマス体験棟



展示室

(こちらの記事は山武市より寄稿いただきました。)